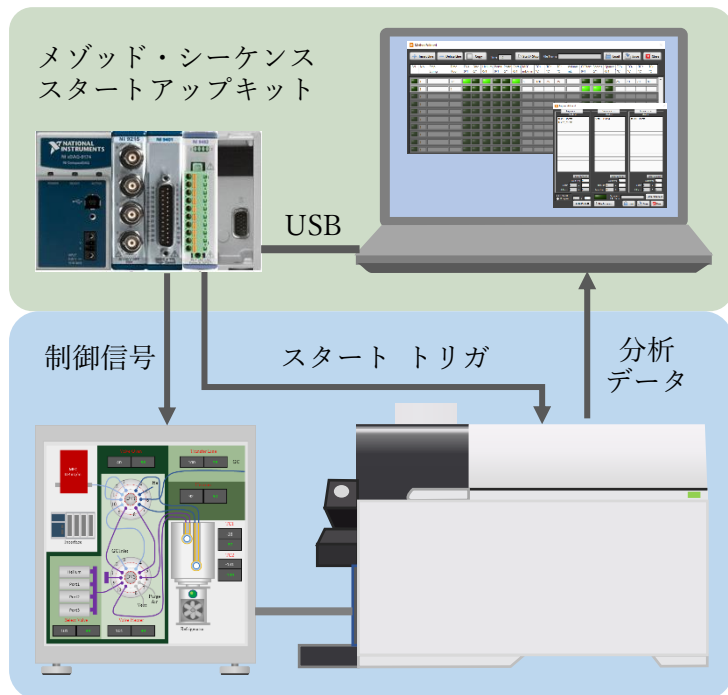


分析作業を自動化

自動化は、作業工数の軽減、分析の再現試験を行え、分析結果の信頼性を向上させます。

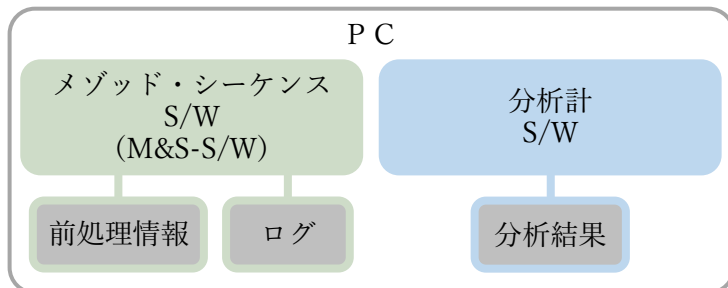


外部入出力で制御できる機材であれば、既存の機材をそのまま使用することができます。

信号入出力装置は、使用する機材の信号に合わせモジュールを選択することができ、機材の変更、追加に柔軟に対応することが可能です。

制御は On/Off、PID、判定、待ち時間に対応し、機材は電磁弁、流量、圧力、温度、通信機材に対応できます。

分析計の計測ソフトウェアを1台のPC内で併用できます



分析計をトリガ待ちとし、信号入出力装置のトリガスタートで分析が開始します。

分析に対する前処理情報はログを見ることでわかります。

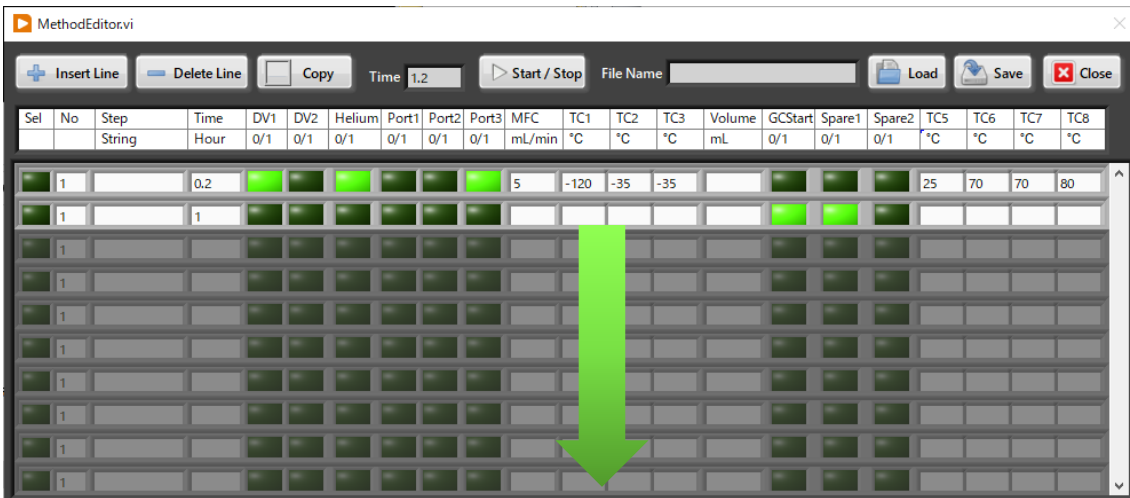
機能追加が可能

- ファイル処理 : 前処理情報、ログ、分析結果などの管理、検索機能、エクスポート
- レポート : 報告書、日報/月報など分析対象物質の推移、最大、最小、平均
- 演算処理 : 分析結果、分析計からのアナログ出力を使用した独自の演算処理
- 遠隔操作 : ネットウェアを使用した遠隔地での運用、データ/異常のメール配信
- クラウドの利用 : データ共有とバックアップ、検索、テレワーク対応

専門知識を持ったエンジニアが協力しシステムを構築

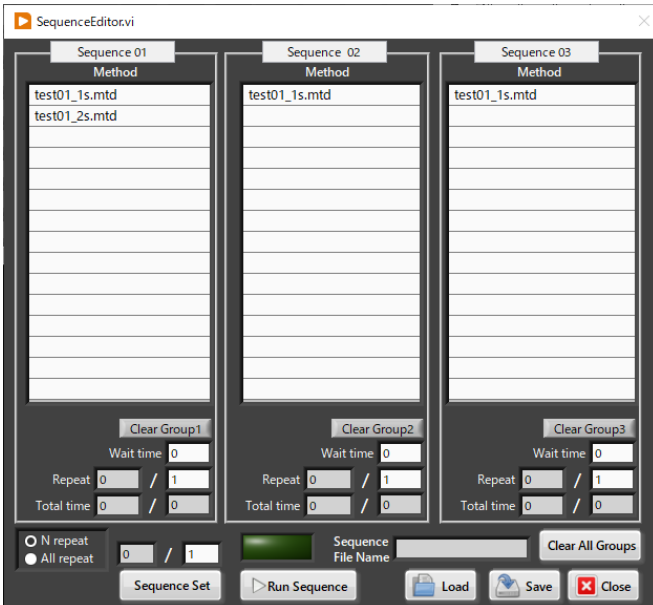
前処理装置、分析機器、消耗品、PC、サーバ、ネットワークなど全てを提供できます。

メゾッド : 1つの機能を定義



- ・ 条件設定で行い、呼出、編集、上書き/別名保存を行う事ができ数の制限はありません。
- ・ 1行の動きを行い、条件が成立すると次の行に移行し動きます。
- ・ 単体で動かすことができ、1回で停止、くり返し動作を選択できます。
- ・ 行数の制限は無くどの行でも編集、追加、削除を行うことが可能です。
- ・ 動作中でも動作中の行を除き行の追加、削除、設定の編集と保存を行うことが可能です。

シーケンス : 複数のメゾッドを組合せ、分析シーケンスを定義



シーケンスは最大3グループを構成でき、メゾッドファイル名を指定し定義します。ファイルの呼出、編集、保存を行う事が可能で、動作中でも動作中メゾッドを除き編集、保存を行う事が可能です。

シーケンスは1回で停止と、繰返し動作の選択が可能で、シーケンスの順番を定義することができます。定義されたシーケンスは1回停止と、くり返し動作の選択が可能です。



太陽計測株式会社 メジャメントソリューション部 03-4426-5113

Email : ni@taiyo.co.jp